

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 株式会社 ディスコ

上場取引所 東

コード番号 6146 URL <http://www.disco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 溝呂木 斉

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 小澤 伸一郎

TEL 03-4590-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	9,256	△48.0	△1,142	—	△1,197	—	△902	—
21年3月期第1四半期	17,793	—	1,854	—	1,929	—	1,253	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△26.86	—
21年3月期第1四半期	36.95	36.89

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	121,036	85,109	69.8	2,514.86
21年3月期	123,925	86,328	69.2	2,552.54

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 84,511百万円 21年3月期 85,777百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		10.00	—	10.00	20.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	23,200	△34.6	△400	—	△500	—	△500	—	△14.88
通期	51,000	△4.0	1,000	—	700	△52.1	100	△60.2	2.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 34,004,418株 21年3月期 34,004,418株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 399,666株 21年3月期 399,666株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 33,604,752株 21年3月期第1四半期 33,936,152株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、5ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予測に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期 累計期間	18,000	△35.7	△800	-	△100	-	100	△95.8	2	98
通期	39,300	△2.9	△200	-	400	77.4	100	-	2	98

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無: 有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

① 当期の状況

当第1四半期連結会計期間における世界経済は、各国政府の政策協調により最悪期を脱したものの、設備投資活動や個人消費は依然として極めて弱く、厳しい環境が継続いたしました。

当社グループが主力事業を展開する半導体業界では、メーカ各社の設備投資は低迷しておりましたが、アジア地域を中心に生産稼働率の大きな改善が見られました。また、これまで減少が続いていた半導体製造装置の受注に底打ちの動きが出てまいりました。

このような環境を受け、消耗品である精密加工ツールの売上高はピーク時の7割程度まで回復しました。一方、精密加工装置については、レーザーの出荷がLED向けに堅調であった以外は引き続き低い水準に留まりました。そのため、徹底した経費管理や一時帰休を実施するなど、コストの抑制に努めてまいりました。

以上のような状況のもと、当第1四半期連結会計期間の売上高は92億56百万円（前年同四半期連結会計期間比48.0%減）となりました。営業損失は11億42百万円（前年同四半期連結会計期間は18億54百万円の利益）、経常損失は11億97百万円（同19億29百万円の利益）、四半期純損失は9億2百万円（同12億53百万円の利益）となりました。

また、海外売上高は67億85百万円となり、売上高に占める比率は73.3%（同64.4%）と8.9ポイント増加しました。

② 事業の種類別セグメント業績

(イ) 電子業界関連製品事業

当第1四半期連結会計期間において、主力の精密加工装置の売上高は、LED向けにレーザーが堅調であったほか、アジア地域のサブコン向けにダイサの引き合いも若干ありましたが、総じて極めて低い水準で推移しました。一方、消耗品である精密加工ツールの売上高は、在庫調整の一巡などにより半導体メーカ各社等の稼働率が回復していることを受けて、ピーク時の7割程度まで回復いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は89億46百万円（前年同四半期連結会計期間比48.0%減）、営業損失は5億11百万円（前年同四半期連結会計期間は26億17百万円の利益）となりました。

(ロ) 産業用研削製品事業

当事業は、土木・建築業界および各種製造業向けの産業用ダイヤモンド工具、自動車および電子部品向け等の一般砥石の製造・販売を行っております。

当第1四半期連結会計期間は厳しい経済環境の影響を受け、売上高は2億86百万円（前年同四半期連結会計期間比48.8%減）と大幅に減少し、営業損失は37百万円（前年同四半期連結会計期間は70百万円の利益）となりました。

(ハ) その他事業

当事業は、半導体製造装置メーカ等向けにコンピュータシステムのソフト・ハードの開発・販売を行っております。

当第1四半期連結会計期間の売上高は22百万円（前年同四半期連結会計期間比6.5%減）となり、営業損失は38百万円（前年同四半期連結会計期間は43百万円の損失）となりました。

③ 所在地別セグメント

(イ) 国内

当セグメントは国内のほか、現地の代理店を通じて販売している売上高も含んでおります。

当第1四半期連結会計期間は、消耗品である精密加工ツールの需要が回復してきたものの、半導体メーカ各社の設備投資抑制などの影響で、売上高は57億11百万円（前年同四半期連結会計期間比49.2%減）、営業損失は8億94百万円（前年同四半期連結会計期間は21億2百万円の利益）となりました。

(ロ) 在外

北米地域における売上高は7億38百万円（前年同四半期連結会計期間比25.9%減）、営業損失は10百万円（前年同四半期連結会計期間は57百万円の損失）となりました。アジア地域における売上高は17億53百万円（前年同四半期連結会計期間比45.9%減）、営業利益は96百万円（同32.6%減）となりました。ヨーロッパ地域の売上高は10億53百万円（同54.4%減）、営業利益は1億38百万円（同70.2%減）となりました。

④ 海外売上高

海外売上高は、北米地域へ8億3百万円（前年同四半期連結会計期間比17.3%減）、アジア地域へ52億21百万円（同36.0%減）、ヨーロッパ地域へ7億60百万円（同67.1%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、仕入債務の支払、有形固定資産取得代金の支払および配当金の支払等により、現金及び預金が減少したため、全体として前連結会計年度末比28億88百万円減少し、1,210億36百万円となりました。純資産は851億9百万円となり、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.6ポイント上昇し69.8%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

世界経済は先行き不透明な状況が続くものと思われませんが、半導体市場ではメーカ各社の稼働率が改善し、半導体製造装置の受注動向も好転しつつあります。また、LED用の設備投資が急速に活発化しております。このような市場の状況を勘案した結果、平成21年5月15日に公表した業績予想を以下の通り修正いたします。

(連結業績予想)

平成22年3月期 第2四半期連結累計期間

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	19,300	△1,900	△2,100	△1,500	円 △44.64
今回発表予想 (B)	23,200	△400	△500	△500	△14.88
増減額 (B-A)	3,900	1,500	1,600	1,000	—
増減率 (B/A)	20.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期 第2四半期)	35,497	3,949	4,066	2,659	78.36

平成22年3月期 通期

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	44,000	△1,200	△1,500	△1,400	円 △41.66
今回発表予想 (B)	51,000	1,000	700	100	2.98
増減額 (B-A)	7,000	2,200	2,200	1,500	—
増減率 (B/A)	15.9%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	53,108	76	1,460	251	7.41

(個別業績予想)

平成22年3月期 第2四半期累計期間

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	13,800	△2,200	△1,500	△900	円 △26.78
今回発表予想 (B)	18,000	△800	△100	100	2.98
増減額 (B-A)	4,200	1,400	1,400	1,000	—
増減率 (B/A)	30.4%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成21年3月期 第2四半期)	28,000	2,462	3,643	2,373	69.95

平成22年3月期 通期

(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	32,000	△2,100	△1,500	△1,200	円 △35.71
今回発表予想 (B)	39,300	△200	400	100	2.98
増減額 (B-A)	7,300	1,900	1,900	1,300	—
増減率 (B/A)	22.8%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	40,458	△1,783	225	△344	△10.15

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定に関して、定率法を採用している資産については連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計算する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。また、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,594	33,418
受取手形及び売掛金	10,968	10,963
商品及び製品	5,013	5,533
仕掛品	5,023	5,138
原材料及び貯蔵品	7,437	8,106
その他	2,153	3,217
貸倒引当金	△65	△71
流動資産合計	60,126	66,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	19,992	20,324
土地	12,788	12,787
その他（純額）	18,330	15,430
有形固定資産合計	51,110	48,542
無形固定資産	778	782
投資その他の資産		
その他	9,042	8,311
貸倒引当金	△39	△37
投資その他の資産合計	9,003	8,274
固定資産合計	60,892	57,598
繰延資産	17	20
資産合計	121,036	123,925

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,062	3,602
短期借入金	1,070	1,072
1年内返済予定の長期借入金	1,903	1,903
1年内償還予定の社債	300	300
未払法人税等	204	214
賞与引当金	676	1,358
その他の引当金	103	117
その他	2,866	3,301
流動負債合計	10,187	11,871
固定負債		
社債	2,700	2,700
長期借入金	21,745	21,747
引当金	603	536
負ののれん	187	209
その他	502	531
固定負債合計	25,739	25,725
負債合計	35,927	37,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,517	14,517
資本剰余金	15,599	15,599
利益剰余金	56,104	57,342
自己株式	△1,071	△1,071
株主資本合計	85,149	86,388
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8	0
為替換算調整勘定	△647	△610
評価・換算差額等合計	△638	△610
新株予約権	473	421
少数株主持分	124	130
純資産合計	85,109	86,328
負債純資産合計	121,036	123,925

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	17,793	9,256
売上原価	9,067	5,333
売上総利益	8,726	3,922
販売費及び一般管理費	6,871	5,065
営業利益又は営業損失(△)	1,854	△1,142
営業外収益		
受取利息	—	8
受取利息及び配当金	50	—
負ののれん償却額	22	22
持分法による投資利益	21	4
その他	45	39
営業外収益合計	140	74
営業外費用		
支払利息	5	92
為替差損	38	15
その他	21	22
営業外費用合計	64	129
経常利益又は経常損失(△)	1,929	△1,197
特別利益		
固定資産売却益	3	0
貸倒引当金戻入額	—	3
その他	0	1
特別利益合計	4	5
特別損失		
固定資産除売却損	6	8
特別退職金	11	79
一時帰休費用	—	165
その他	4	—
特別損失合計	22	254
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,911	△1,447
法人税、住民税及び事業税	176	77
法人税等調整額	489	△616
法人税等合計	666	△539
少数株主損失(△)	△9	△5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,253	△902

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,911	△1,447
減価償却費	954	1,189
負ののれん償却額	△22	△22
持分法による投資損益(△は益)	△21	△4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△864	△682
有形固定資産除売却損益(△は益)	2	7
受取利息及び受取配当金	△50	△12
支払利息	5	92
売上債権の増減額(△は増加)	3,461	△26
たな卸資産の増減額(△は増加)	300	1,105
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,099	△558
その他	△1,090	1,109
小計	498	747
利息及び配当金の受取額	54	10
利息の支払額	△5	△23
法人税等の支払額	△1,660	△74
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,111	659
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△500	—
有形固定資産の取得による支出	△2,107	△4,170
有形固定資産の売却による収入	16	32
無形固定資産の取得による支出	△11	△21
定期預金の預入による支出	—	△9,400
その他	△10	25
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,611	△13,532
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△1,493	△336
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,494	△336
現金及び現金同等物に係る換算差額	461	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,756	△13,223
現金及び現金同等物の期首残高	18,062	33,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,306	20,194

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	電子業界関連製品事業 (百万円)	産業用研削製品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	17,209	559	24	17,793	-	17,793
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	16	18	35	(35)	-
計	17,209	576	42	17,829	(35)	17,793
営業利益又は営業損失（△）	2,617	70	△43	2,643	(789)	1,854

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	電子業界関連製品事業 (百万円)	産業用研削製品事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,946	286	22	9,256	-	9,256
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	9	13	22	(22)	-
計	8,946	296	36	9,279	(22)	9,256
営業損失（△）	△511	△37	△38	△587	(555)	△1,142

(注) 1. 事業区分の方法

製品を主として販売市場の類似性を基準として区分する方法によっております。

2. 各事業区分の主要製品

- (1) 電子業界関連製品事業……………〔精密加工装置〕ダイシングソー、レーザソー、グラインダ、ポリッシャ、ドライエッチャ、サーフェースプレーナー
〔精密加工ツール〕ダイシングブレード、グラインディングホイール、ドライポリッシングホイール
〔精密電子部品〕
- (2) 産業用研削製品事業……………ダイヤモンドホイール、研削切断砥石等
- (3) その他事業……………ソフト開発等

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	11,246	996	3,239	2,310	17,793	-	17,793
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,382	10	231	0	4,624	(4,624)	-
計	15,629	1,007	3,471	2,310	22,418	(4,624)	17,793
営業利益又は営業損失(△)	2,102	△57	143	465	2,653	(799)	1,854

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,711	738	1,753	1,053	9,256	-	9,256
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,092	15	201	9	2,318	(2,318)	-
計	7,803	754	1,954	1,062	11,574	(2,318)	9,256
営業利益又は営業損失(△)	△894	△10	96	138	△668	(473)	△1,142

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する国又は地域の主な内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……………米国

(2) アジア……………シンガポール、マレーシア、タイ、中国、韓国、台湾

(3) ヨーロッパ……………ドイツ、フランス、イギリス

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	北米	アジア	ヨーロッパ	計
I 海外売上高（百万円）	972	8,164	2,313	11,450
II 連結売上高（百万円）	-	-	-	17,793
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	5.5	45.9	13.0	64.4

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	北米	アジア	ヨーロッパ	計
I 海外売上高（百万円）	803	5,221	760	6,785
II 連結売上高（百万円）	-	-	-	9,256
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	8.7	56.4	8.2	73.3

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の主な内訳は次のとおりであります。

(1) 北米……………米国

(2) アジア……………シンガポール、マレーシア、タイ、中国、韓国、台湾

(3) ヨーロッパ……………ドイツ、フランス、イギリス

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 生産実績

当第1四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
電子業界関連製品事業 (百万円)	7,317	51.5
産業用研削製品事業 (百万円)	169	55.3
その他事業 (百万円)	36	85.2
合計 (百万円)	7,523	51.6

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結会計期間における受注状況を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
電子業界関連製品事業	10,013	58.5	4,553	51.4
産業用研削製品事業	289	57.7	44	23.8
その他事業	10	13.4	14	19.5
合計	10,312	58.3	4,612	50.6

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	前年同四半期比 (%)
電子業界関連製品事業 (百万円)	8,946	52.0
産業用研削製品事業 (百万円)	286	51.2
その他事業 (百万円)	22	93.5
合計 (百万円)	9,256	52.0

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。